9
September 2017
No.735

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（副会長　渡辺 賢治）…… 3
- 代議員会報告 …… 4
- 理事会報告 …… 5
- 委員会紹介② …… 8
- 委員会報告 ……14
  （学術）
- 各郡市新執行部紹介 ……16
- 郡市会報告 ……20
  （熊本市、荒尾市）
- リレー投稿⑨ ……22
- 新入会員 ……24
- 会務報告 ……25

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

荒尾市歯科医師会主催、有明海での第22回親睦釣り大会の写真です。

子供達もシロギスをはじめ色々な魚を釣り、大会を盛り上げました。

（N・Y）

人材育成考

副会長　渡辺　賢治

組織における人材育成は大変重要なテーマであるとともに、とても厄介で難しい課題だといえます。人材育成のセミナーを受けたり、コンサルタントに相談したり、システマチックな人事評価制度を取り入れたり、職員の研修やミーティングに取り組んだり、様々な努力をされている先生方もたくさんいらっしゃると思います。結果、優秀な人材の育成に成功されている医院もあれば、なかなかうまくいかず行き詰っていたり、短期的な効果や業績に気を取られたり、目先の忙しさに追われ後回しになっていることもあるかと思います。また、診療所に限らず、県歯科医師会や郡市歯科医師会、歯科医師会事務局においても重要な課題であり、歯科医師会や歯科界を牽引していく人材の育成は必要不可欠と言えます。

人材育成でよく聞かれる、太平洋戦争連合艦隊司令長官山本五十六の有名な言葉に「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ」というのがありますが、これには続きがあります。「話し合い、耳を傾け承認し、任せてやらねば、人は育たず」さらに「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」と続きます。山本五十六という人を私は詳しくは知りませんが、この３つの教えの中から、人を教育、指導する際は相手への敬意や尊重が必要であり、良好な信頼関係を築くには愛情を持って接することが大切であることが伝わってきます。

診療室においても歯科医師会においても、組織として果たすべき使命や目的がありそれを達成するためには、良好な信頼関係と一人ひとりの個の技術や能力と組織としての技術や能力が必要です。対立からは対立、反感からは反感しか生まれず、良好な信頼関係は構築できません。組織の目標達成を目指す時、仕事に対する真摯な態度と姿勢、スタッフに対する感謝と思いやりの気持ち、厳しさの中にも寛大さと許容の心を持ちたいものです。人材育成について詳しく語る知識もスペースもありませんが、一つの教訓としてご覧いただければと思います。

熊本県歯科医師会も今年111年目のスタートを切りました。先達の築いた伝統を受け継ぎながら、多様化する社会に適した新しい形を会員の皆さんとともに創造し、未来に繋いで行く、伝統を築いていく必要あると思います。これは私たちの診療所でも同じであり、診療内容が変化する中、これまでのやり方では淘汰される時代になっています。自らの診療室をスタッフと力を合わせ、時代や環境に合った形に作り上げていかなければなりません。

創業室町、490年続く羊羹の老舗「とらや」には「伝統は革新の連続」という教えがあるそうで、時代にあった味を取り入れマイナーチェンジを繰り返し今日の繁栄に至っています。

革新の実現には、それを支える技術と能力を備えた人材の育成が不可欠であり、私たちの取り組むべき大切な課題ではないでしょうか。

代議員会

全ての議案を承認可決

― 第１回臨時代議員会 ―

７月15日（土）午後４時より、県歯会館４階ホールにおいて、51議員、浦田会長他八木常務理事を除く全役員出席のもと開催された。

１．開会：小島副会長
２．仮議長選出：宮本 格尚　議員（熊本市）
３．代議員会議長及び副議長選出：
　議長　宮本 格尚　議員（熊本市）
　副議長　武藤 健史（阿蘇郡市）
４．議事録署名人の選任：
　合澤 康生　議員（熊本市）
　山口 透　議員（八代）
５．物故会員に対する黙祷：
　出口 久男　会員（熊本市）
６．挨拶：浦田会長

昨年、熊本地震が起こり、今年も残念ながら、特に福岡や大分で甚大な水害が発生し、多数の死傷者も出ております。お悔やみを申し上げるとともに、多数の行方不明者が早期発見されることを願います。本当に毎年毎年全国で災害が起きます。どこでいつ何が起きてもおかしくないという状況で、我々も気を緩めずにいつでも対応できるような体制をしっかり作っていきます。

６月17日に開かれた定時代議員会で、新たな役員を選任・選挙して頂き、この体制で２年間会務を執行していきます。ほとんど顔ぶれは変わっていませんが、しっかりと会務を推し進めていきますので、代議員の先生方もご協力をお願いします。

この２年間、大きな目標を二つ掲げています。まず一つは、医科歯科連携を始めとする様々な連携を、さらにバージョンアップしていくことです。そんな中で政府の骨太方針2017において、歯科保健医療の推進という言葉が入りました。また、各世代での歯科健診の充実を図るという文言も入っております。我々が歯と口の健康を通じて全身の健康を守り・支えるという思いが国の方針になりました。今後題目だけで方針だけで終わらずに、熊本から歯科保健医療を進め、発信ができる様な２年間にしていきたいと思います。それともう一点が、昨年起きました熊本地震、まだまだ復旧復興が完了していない会員の先生方が多数います。グループ補助金等も200人を超える先生方がグループを組んで進めておりますけれども、まだまだ半数以上の方がまだ最終的な決定がなされていません。また工事も人手不足ということでなかなか進まない状況であります。この二大方針を進めるべく、

新たな役員で邁進してまいりますのでどうか先生方の絶大なるご支援・ご指導お願いしまして、簡単ではございますけれども私の本日のご挨拶とさせていただきます。２年間どうかよろしくお願いします。

７．退職役員・代議員会議長及び副議長、代議員への感謝状の贈呈
- 役員（１期以上）
　宮坂 圭太　会員（山鹿市）、
　冨屋 栄祐　会員（下益城郡）、
　久々山 芳文　会員（天草郡市）
- 代議員会議長・副議長（１期以上）
　玉置 孝信　会員（上益城郡）
- 代議員（３期以上）
　森 義和　会員（宇土郡市）、
　森 隆文　会員（玉名郡市）、
　神山 久志　会員（山鹿市）、
　武市 功雄　会員（山鹿市）、
　宮川 俊弥　会員（菊池郡市）、
　玉置 孝信　会員（上益城郡）、
　藤崎 圭一　会員（水俣・芦北郡市）、
　與田 桂三　会員（人吉市）、
　山本 源治　会員（天草郡市）

浦田会長より当日出席の３人へ感謝状が授与された。

８．報告：
⑴　役員の役職・所管報告
⑵　嘱託の委嘱報告

９．議事：
第１号議案　裁定審議委員会委員の委嘱に関する件
第２号議案　選挙管理委員会委員、同予備委員の委嘱に関する件

以上、全ての議案は原案どおり承認可決された。

10．閉会：渡辺副会長

（広報　永廣 有伸、緒方 秀則）

理事会報告

新執行部が本格的に始動

― 第３回理事会 ―

７月26日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他椿常務理事を除く全役員の出席のもと開催された。

１．開会：小島副会長

２．挨拶：浦田会長

先日の臨時代議員会において、正式に現役員の報告をさせていただきました。今回が実質的に第１回目の理事会ということになります。私も５期目となりますが、また一から新たな気持ちで向かいたいと思いますので宜しくお願い致します。

中国元朝の名臣張養浩が著した「三事忠告」というのがあります。これは各任務に就いた時の心得を彼の実体験を通して書き綴られたもので、内容は「廟堂忠告」大臣への忠告、「風憲忠告」法務官への忠告、「牧民忠告」地方長官への忠告がそれぞれ10の忠告として掲げています。それぞれの忠告の一番目には、修身（身を修めること）、自律（自らを律すること）、省己（己を省みること）が挙げられており、この三つの忠告を通して役職にある者は先ず己を正す自己修練がいかに大事であるかを言っております。我々もこの忠告を胸に刻んで会務を進めて行きたいと思います。また経書、大学に「心正しくして而る后身修まる。身修まりて而る后家斉う。家斉うて而る后国修まる。国修まりて而る后天下平かなり。」とあります、まず足元から、自らの身を修め、家を斉えることから始めていきましょう。そしてこの２年間自分を磨くつもりで会務に臨んでいきましょう。本日も沢山の議題が出ておりますので、慎重審議宜しくお願い致しまして挨拶とさせて頂きます。

３．議長選出：浦田会長

４．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長

５．平成29年度会務報告：

（自：６月30日～至：７月23日）

本会総務：理事会、常務理事会、臨時代議員会

社会保険：保険共同指導

地域保健：へき地保健医療対策に関する協議会

学校歯科：日学歯理事会

医療対策：医療相談・苦情事例報告

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員

- 故　出口 久男　会員（終身／熊本市）86歳　６月21日ご逝去
- 前川 研二　会員（一般／熊本市）６月30日付　閉院のため

２．保健医療データの活用

支払基金は保健医療サービスの環境整備のため、厚労省のＡＩ等を導入した「データヘルス改革」を進める。

３．第７次県保健医療計画の策定

具体的な歯科保健の項目を盛り込むよう要望する。

４．自民党熊本県連への要望書提出

①中小企業等グループ施設等復旧整備補助金の書類審査の改善並びに交付決定の迅速化

②口腔保健センターの障がい児（者）歯科診療における安全安心な診療体制の構築

③学院の奨学金制度創設

以上の３つの要望について、牧連盟副会長が自民党県連へ要望書を持参し提出した。

５．地域ケア会議

地域包括ケアシステムについて、県の方針として地域包括支援センターの自立支援型ケアマネジメントの充実を目指す。

６．中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に係る交付決定状況

７月５日現在の交付決定状況は、申請全体の44.8%となっている。

７．第39回九州口腔衛生学会総会での発表

９月３日（日）に佐賀県で開催される九州口腔衛生学会総会において、生活歯援プログラムについて発表する。

８．６月末会計現況

９．その他

●スポーツデンティスト養成講習会の受講者

片山 公則 会員（阿蘇郡市）と井手 裕二 会員（熊本市）に決定した。

●九州北部豪雨災害被害者への支援物資

福岡県歯科医師会より支援物資の要請があり、本会で備蓄している義歯ブラシ・フロスを送付した。

７．連絡事項：

１．８月行事予定

理事会を23日（水）から22日（火）へ変更する。

８．承認事項：

１．新入会員の承認〔承認〕

今泉 真理子（第１種／菊池郡市）、光永 昭宏（第１種／天草郡市）、今泉 亮（第２種／菊池郡市）、中山 越賀（第２種／菊池郡市）、廣瀬 知二（第３種）、吉武 義泰（第３種）、熊本回生会病院（第４種／上益城郡）の入会を承認した。

※29年度入会状況（７月末現在）：第１種・７人、第２種・５人、第３種・４人、第４種・２医療機関

２．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕

●熊本さわやか長寿財団理事／熊本さわやか長寿財団

浦田 健二 会長　任期：平成29年６月26日～平成31年度定時評議員会終結時

●県移植医療推進財団評議員／県薬務衛生課

浦田 健二 会長　任期：平成29年６月13日～平成33年定時評議員会終結時

●荒木泰臣県町村会長の全国町村会長就任を祝う会発起人　浦田 健二 会長

●日本歯科医師会代議員・予備代議員／日本歯科医師会

代議員：浦田 健二 会長、小島 博文 副会長

予備代議員：渡辺 賢治 副会長、牛島 隆 専務理事　任期：平成29年７月１日～平成31年６月30日

●日本歯科医師会社会保険委員会委員／日本歯科医師会

椿 誠 常務理事　任期：平成29年６月16日～平成31年６月定時代議員会終結時

●日本学校歯科医会代表会員・予備代表会員／日本学校歯科医会

代表会員：渡辺 賢治　副会長、予備代表会員：田上 大輔　常務理事　任期：平成29年７月１日～平成31年６月30日

●日本学校歯科医会理事／日本学校歯科医会

大林 裕明 理事　任期：平成29年６月28日～平成31年６月定時総会終結時

３．名義後援使用依頼〔承認〕

●地域の口腔がんを考えるシンポジウム（熊本県版）／口腔がん撲滅委員会

●第46回県人権教育研究大会／県人権教育研究協議会

●第55回県精神保健福祉大会／県精神保健福祉協会

●熊本地震復興支援特別講演会／東臨床歯周病研究所

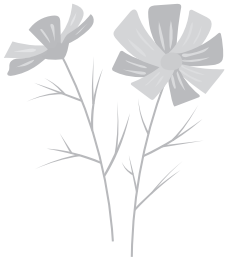
９．議題：

１．第29回中規模県歯科医師会連合会会議の提出協議題〔承認〕

提出協議題があれば、牛島専務理事か事務局へ連絡することとした。

2．九地連協議会提出協議題の回答〔承認〕
　回答案について、一部修正し提出することとした。
3．平成28年度各郡市会長・専務理事連絡会議の開催日〔承認〕
第１回：平成29年10月28日（土）午後４時～
第２回：平成30年１月27日（土）午後４時～
　両日程を承認し、準備を進めることとした。
4．平成30年度地域医療介護総合確保基金新規事業提案〔承認〕
　４つの新規事業を県へ提出することとした。
5．平成29年度くま歯キャラバン隊の運営〔承認〕
　キャラバン隊については今後も継続することとした。内容については各所管で検討する。
6．平成29年度保存期間を経過した帳簿の廃棄（案）〔承認〕
　規則に基づき廃棄することとした。
7．財務検討臨時委員会の設置〔承認〕
　設置及び委員メンバーについて承認した。なお、オブザーバーは、渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、吉永会計士、福岡弁護士とする。
8．熊本地震に伴う被災生徒（学院）授業料の減免補助金〔承認〕
　県の補助金対象にならなかった学生に対し、本会義援金の中から総額50万円を交付することとした。
9．熊本地震見舞金・義援金給付検討臨時委員会の継続と委員の追加〔承認〕
　臨時委員会は継続し、委員に牛島専務理事を追加することとした。
10．第56回全日本学校歯科保健優良校の推薦〔承認〕
　熊本県教育長、熊本市教育長からそれぞれ推薦された２校を日本学校歯科医会へ推薦することとした。
11．県学校保健会協力寄付金の協力依頼〔承認〕
　会員へ協力依頼文を送付し、寄付金を募ることを承認した。
12．医療広告規制見直しに関する事項の会員通知〔承認〕
　医療広告規制の注意点に関して、重要部分を２色で印刷し会員宛通知することとした。
13．平成29年度（第33回）新入会員研修会の日程〔承認〕
　平成30年２月３日（土）午後３時より県歯会館で開催することを承認した。
14．在宅歯科医療連携室整備事業打合会の開催〔承認〕
　８月２日（水）午後７時より県歯会館で開催することを承認した。
15．熊本型早産予防対策事業と妊婦に特化した歯周病セルフチェック票の報告〔承認〕
　内容について県と再度精査してから、日歯へ報告することとした。
16．平成30年度日本補綴歯科学会九州支部学術大会の大会会長への就任及び後援依頼〔承認〕
　浦田会長の大会会長就任及び後援依頼について了承することとした。
10．協議事項：
11．監事講評：
12．閉会：渡辺副会長

（広報　竹下 憲治）



★委員会紹介 その２

社会保険委員会（理事　田中　文丸）

理事の抱負

前期に続き、社保担当を拝命しました田中文丸です。過去４年間で審査における理不尽な点を改善し、会員に向けて必要な情報を配信してきました。その結果、28年度改定の影響もあり、昨年度の平均点数は10年ぶりに上昇しました。しかし本当に会員の為になるのは総点数のアップだと思います。社保３期目の今回は、支払基金と国保連合会との審査基準の統一を今まで以上に行っていきたいと思っています。

― 平成29年度社会保険関係事業計画 ―

１．会員への情報提供・指導対応・研修会等の開催

○情報提供

・会員への情報提供
　社会保険Book等の発行　　月１回
・保険請求110番の推進
　社保委員会への質問の対応

○指導対応

・個別指導（共同指導を含む）対象医療機関への説明会の開催　　年１回
・社保個別相談会の開催
　指導対象医療機関との個別相談　随時
　場所：県歯会館、現地医療機関
・レセプトチェックセンター　　月１回
・個別指導立会への参加
　随時　年35回程度　延べ概ね70医療機関
・集団的個別指導の立会　　年１回
・平成30年度点数改定説明会の開催

○研修会

・新入会員研修会の開催　　年１回
・社保研修会の開催　　年１回
・シニア倶楽部社保研修会の開催　年１回

２．各歯科医師会との連絡・協議

・各郡市社保担当者会議の開催
・各郡市社保説明会の開催
・九州各県社保担当者会議参加　　佐賀
・近県社保担当者会議の開催　　熊本
・都道府県担当者会議参加　　東京
・日歯主催研修会参加
　社保指導者研修会　　東京

３．関係諸機関との連絡・協議

・支払基金及び国保連合会の全審査員との合同研修会　　年１回
・国保連合会勉強会　　年１回
・九州厚生局熊本事務所との打合せ
　年２回

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	桐野美孝	玉名郡市
副委員長	井口泰治	熊本市
	橋本英樹	山鹿市
	野田和宏	上益城郡
委　員	宇治寿隆	熊本市
	清水雅英	人吉市
	渡辺　洋	熊本市
	金本良久	熊本市
	舩津雅彦	熊本市
	清藤寿晃	八代
	園田隆弘	阿蘇郡市
	小林裕介	天草郡市
	市川康裕	菊池郡市
	今﨑佳昭	八代
	福田勇人	熊本市

地域保健委員会（理事　赤尾　浩彦）

理事の抱負

本委員会では、地域に潜在する歯科保健医療の顕在化と歯科医療のパイを拡大することを目的に啓発活動と仕組み作りを実施しています。特に、今年の骨太方針に記載された「歯科健診の充実」「口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実」を踏まえて、生活歯援プログラム、後期高齢者歯科健診、糖尿病・歯周病連携や早産予防対策等の事業を展開していきます。会員の皆様へは、“いきいき通信”で情報提供していく予定です。これからの２年間、会員の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

― 平成29年度地域保健関係事業計画 ―

１．8020達成事業の推進
- ・各種関連団体との連携協力
- ・8020運動推進特別事業（委託事業）への対応
- ・会員に対する地域歯科保健関連情報の提供
- ・各種イベントにおける歯科保健普及啓発部門への協力

２．医療制度改革への対応
- ・地域医療介護総合確保基金（新財政支援制度）への対応
- ・特定健診・特定保健指導への対応
- ・地域・職域連携推進協議会、保険者協議会への対応
- ・健康増進法歯周疾患検診への対応
- ・標準的成人歯科健診（生活歯援）プログラムの活用
- ・後期高齢者歯科口腔健康診査事業への対応

３．熊本県健康増進計画関連事業の推進
- ・くまもと21ヘルスプラン推進委員会
- ・熊本県歯科保健推進会議およびワーキング部会

４．産業歯科保健活動の推進
- ・事業所健診の実施等

５．各郡市地域歯科保健活動との連携推進強化
- ・各郡市歯科医師会地域保健担当者会議の実施と充実
- ・各郡市歯科医師会間の連携と情報の共有

６．熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例への対応
- ・歯及び口腔の健康づくりに対応した歯科受診勧奨システムの構築
- ・乳幼児期及び学齢期におけるフッ化物応用の推進

７．九州各県地域保健担当者会の開催

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	郷原賢次郎	菊池郡市
副委員長	髙水間　奨	山鹿市
委　員	二宮　健郎	熊本市
	福田　聖一	玉名郡市
	蔵本　茂禎	荒尾市
	伊藤　延隆	水俣・芦北郡市
	松原　崇士	天草郡市
	志方　圭介	上益城郡

広報委員会（理事　竹下　憲治）

理事の抱負

平素より委員会報告､郡市会報告など会報作成にご協力頂き感謝申し上げます｡引き続き広報を担当させて頂くことになりました。

１期目は毎号の会報を発行するのに精一杯でしたが、震災時にはマスコミ報道の影響力の大きさ、重要性を改めて考えさせられました。今期は会員及び対外的広報活動を積極的に行っていきたいと思います。会報も会員の皆様方にもっと読んで頂けるように「リレー投稿」や「気まぐれに復活グルメハンター」を企画しました。さらに県歯ホームページ、ニュースレター、メールニュースも更に充実して行きたいと考えていますので、ご協力をお願い申し上げます。

― 平成29年度広報関係事業計画 ―

１．熊歯会報の発行
- ⑴　掲載記事内容の全面的な見直し
- ⑵　会報作成の新しい手法の検討

２．発行物の見直しと検討
- ⑴　発送先の再度見直し
- ⑵　一部ペーパーレス化の検討

３．ニュースレターの発行
- ⑴　掲載内容の見直し（会報との内容の差別化）

４．ホームページの管理補助
- ⑴　対外ＰＲとして県民向けの内容の充実
- ⑵　リアルタイムなトップページの内容変更
- ⑶　会員専用ページのさらなる充実とアクセス数の増加、利便性の追求

５．対外的な広報活動の推進
- ⑴　本会の活動を周知するための広報活動の方法を検討
- ⑵　マスコミとの親睦を深めるため懇親会の開催、本会の活動を積極的に取材してもらうための方策の検討
- ⑶　テレビやラジオでのスポットＣＭの放映
- ⑷　県民啓発のための歯科コラムの再掲載への努力
- ⑸　笑顔ヘルＣキャンペーン写真コンクールの応募数を増やすための検討
- ⑹　県民啓発のためにテレビ・ラジオの効果的利用と積極的出演
- ⑺　対外広報活動の展開

６．8020達成事業・医科歯科連携事業の推進
- ⑴　広報活動による支援

７．情報の整理、管理、保管
- ⑴　メールニュースの内容と活用法の検討と充実、携帯連絡網の管理、定期配信、登録数増加への努力

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	永廣　有伸	玉名郡市
副委員長	秋山　清	熊本市
委　員	髙﨑真由美	熊本市
	松枝　勝興	八　代
	八木　俊晃	熊本市
	緒方　秀則	熊本市

学校歯科委員会（理事　大林　裕明）

理事の抱負

皆様こんにちは。５期目に入りました大林です。もう、見飽きた方も多いのではないかと思いますが、今期も一生懸命努めて参りますので宜しくお願いいたします。さて今年は10月21日（土）に、くまもと森都心プラザにて「第39回むし歯予防全国大会」が開催されます。本来ならば昨年行われるはずでしたが、震災の影響で会場が使用できずに今年にずれ込みました。

主催は「NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会」で、テーマを「健口長寿（けんこうちょうじゅ）」～フッ化物の応用・継続の力～と題して講演会を行います。皆様の御来館を心よりお待ち申し上げます。又私事ですが、今期より日本学校歯科医会の理事を拝命いたしました。頑張って２年間勤めさせて頂きます。そこで、学校歯科に関する情報をいち早く先生方にお知らせすることが出来ると思います。

併せて今期の学校歯科委員会を宜しくお願いいたします。

― 平成29年度学校歯科関係事業計画 ―

１．学校歯科保健活動の推進
　医師会・薬剤師会・歯科衛生士会・栄養士会・養護教諭研究会・学校関係・行政関係他との連携
２．むし歯予防対策事業の推進
　・フッ化物洗口事業における協力と推進
３．8020支援事業の推進
　・各郡市歯科医師会学校歯科担当者会議の開催
　・歯科衛生士会と養護教諭、行政との協議会開催
４．むし歯予防全国大会開催への対応
５．学校歯科医のための研修会
６．歯と口の健康週間事業への協力
　図画・ポスター・標語の審査

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	河原　正明	山鹿市
副委員長	石井　洋一	上益城郡
委　員	田畑　祐亮	荒尾市
	宮﨑　修一	八　代
	髙田　宗秀	菊池郡市
	上野　啓之	熊本市

医療対策委員会（理事　永松　聖隆）

理事の抱負

医療苦情相談の対応処理を執務とする医療対策委員会が発足して20年、現在の様な医事処理の基盤は歴代理事の努力により構築されました。その思いを繋いで行きたいと思います。当委員会の主な任務の１つは医療事故及び医療トラブルを未然に防ぐことです。ニュースレターに事例報告しているのも前轍を踏まない様に本質を見極めて頂きたい思いからです。前期、冨屋理事の下、事例削減を目指した結果、発足後、初めて100件を切りました。

しかし、委員一同はあくまでも「事例０」に向け活動を続けていきます。もう１つの任務である医療トラブルの対応に際しては、虚心坦懐に是々非々で事に当たり、全会員が安心して診療に従事できる様に努めたいと思います。ご理解とご協力よろしくお願い致します。

― 平成29年度医療対策関係事業計画 ―

１．医療事故、苦情への対応と処理
２．安心・安全歯科医療推進制度の運営
３．医療事故トラブル予防対策講演会開催
４．関係諸機関との連携、協議
５．各郡市歯科医師会医療相談苦情対応の後方支援
６．医療安全管理の推進
７．医療事故調査制度の体制づくり

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	岡田　長久	八　代
副委員長	椿　賢	熊本市
委　員	原田秀一郎	菊池郡市
	犬束　美尚	玉名郡市
	徳丸　恵介	熊本市
	添田　誠也	熊本市
	我那覇生純	阿蘇郡市
	町田宗一郎	熊本市
	五島　嘉人	熊本市
	松原明日香	熊本市
	上村　裕希	熊本市

センター・介護委員会（理事　松本　信久）

理事の抱負

センター・介護委員会では認知症を含めた高齢者及び障がい者に関する所管を担当いたします。団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

地域包括ケアシステムの構築に向け、センター・介護委員会では疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるように、いかにして「口から食べていただくか」をテーマに委託事業を利用した多職種連携の研修会の企画を考えています。障がい者歯科治療におきましてはここ数年来、行政と口腔保健センターの運営に関して協議を重ねてまいりました。センター開設以来、週１回の歯科治療から患者数の増加に伴い診療日を今年の４月より月曜日から土曜日までの診療体制を作ることができました。今後の課題として診療内容の充実と利用者の８割～９割近くを占める熊本市の積極的な支援を得られるように２年間であらゆる方法を模索していきたいと思います。

― 平成29年度センター・介護関係事業計画 ―

１．障がい児（者）歯科診療（口腔センター）の運営
２．障がい児（者）関連医療機関等との連携、協力
３．障がい児（者）の保護者会での講話及び実技指導の実施
４．障がい児（者）、要介護者歯科診療研修会の実施
５．在宅歯科診療への取り組み
６．摂食・嚥下研修会の実施
７．高齢者福祉医療関連の情報収集と発信
８．介護保険への対応

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	平井　淳也	山鹿市
副委員長	太田　宜彦	上益城郡
委　員	松岡　拓治	菊池郡市
	規工川　浩	玉名郡市
	長野　靖弘	菊池郡市
	井手　裕二	熊本市
	溝口　貴志	八　代
	大坂　栄樹	山鹿市
	本田壮一郎	熊本市

厚生・医療管理委員会（理事　宮井　祐）

理事の抱負

前回に引き続き、２期連続で厚生・医療管理担当理事を務めさせていただく宮井です。

前回は熊本地震発災があり、会員の被災状況の把握やグループ補助金等、地震関連の執務に忙殺され、その他の予定しておりました事業が疎かになってしまいました。もう少し効率的に行えたのではないかと反省しております。

今、歯科界を取り囲む環境は大きく変わってきております。労使関係しかり、治療器具の滅菌等に対する患者さんの視線の厳しさしかり、厚労省の医療広告に対する規制の変化しかりです。それらの情報をいち早く集め、

迅速に対応し、会員の先生方に資することができますよう、委員会全員で頑張ります。
今期もよろしくお願い致します。

— 平成29年度厚生関係事業計画 —

1．会員健康管理の充実
2．高齢会員慶祝行事の実施
3．厚生関係情報の収集と会員への伝達
　⑴　九州各県厚生担当者会
4．関係諸機関との連絡、協議
5．代診派遣制度に関する事項
6．共済互助に関する諸問題の検討と対策

— 平成29年度医療管理関係事業計画 —

1．医療従事者研修会開催
2．歯科衛生士の就職に関する事項
　⑴　歯科衛生士就職説明会の開催
　⑵　リカバリー研修に関する検討
3．医療管理関係情報の収集と会員への伝達
4．医療管理関係講演会の開催
5．医院経営・税務・労務に関する諸問題の検討と対策
　⑴　就業規則についての研修会の開催
6．日本歯科医療管理学会に関する事項
　⑴　日本歯科医療管理学会九州支部総会参加
7．医療事故調査制度に関する研究
8．各県医療管理委員会との連携強化
　⑴　九州各県医療管理担当者会
9．各郡市医療管理担当者との連携強化

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	池嶋　由希	熊本市
副委員長	工藤　智明	上益城郡
委　員	町田由美子	熊本市
	坂田　輝之	荒尾市
	宮本　徳郎	上益城郡
	牧　　潤一	熊本市

お知らせ

ベスト・スマイル・オブ・ザ・イヤー2017
デンタルスマイル部門　作品募集

日本歯科医師会が中心となって実施しておりますベストスマイル・オブ・ザ・イヤーの「著名人部門」と国民参加型の「スマイルフォトコンテスト」に続き、今回から新たに歯科医師会会員（スタッフ）等を対象とした特別賞として「デンタルスマイル部門」が設けられました。応募期間は9月22日(金）までとなっております。“診療の現場から生まれる笑顔写真”を奮ってご応募ください。
詳しくは、日本歯科医師会ホームページまたは日歯広報8月15日号に同封されている付録をご覧ください。

委員会報告

患者情報の把握と評価

― バイタルサインセミナー ―

学術

7月30日（日）午前10時より県歯会館4階ホールにて恒例のバイタルサインセミナーが開催された。当日は147人の参加があり、牛島専務理事の開会の挨拶に始まった。事前に参加者へ配布された10の設問「プレアンケート」を回収した後、日本歯科麻酔学会の望月亮理事の「モニタリング－患者情報の把握と評価－」についての講演が始まった。

講演Ⅰ（感染対策・医療事故）

①感染症患者の歯科治療と支援について：医療現場で考慮すべき血液媒介感染症（B型・C型肝炎・HIV・ATL）デンタルスタッフの負傷による感染症の伝播を起こさないための対策

この中で5類感染症の中の一で国策としてその患者の動向が把握されているHIVの患者でアイセントレス＋ツルバタを投与されている方からの感染のリスクはほとんどない。

経皮的に血液(体液)曝露した場合、歯科で想定されるウイルスの感染力はHBV-30％、HCV-3％、HIV0.3％という割合によるリスクと考えられている。しかし、感染対策の基本であるマスク・手袋・ゴーグルの3つで基本的にはHIV感染は防げる（スタンダードプリコーションを遵守）。

針刺し事故について浸潤麻酔のアシスタントによるリキャップはしない。飛沫感染に関しては、口腔外吸引を使いエアータービンによる飛沫汚染を防ぐことは最も有効な方法の一つであり、積極的に活用するように説明された。エイズの患者が来院されると風評被害を恐れて診療を拒否するようなことがあれば長期的に歯科の社会的立場が低下することも考えられ、またSNSや新聞に取沙汰されることもあるため正しい感染症の知識を持つことが必要である。

147人の参加で熱気ある会場

②医療事故：当然その性質上、事故を予測しなかった場合に起きるもので、医療事故が起きたら速やかに医療事故調査・支援センター（県歯会が担当）に連絡し、その原因調査と医療従事者と患者遺族側の双方の支援を行うことになっている。不幸にして事故が起こった場合、医療者と患者遺族側の権利を守り再発を防ぐことが図られている。

講演Ⅱ（全身管理と救急蘇生法）

①「患者をモニターする」ということ：数値のバイタルサインを採る前から患者の観察というモニタリングが始まっている。患者と話しながら・体臭（口臭や顔色・皮膚に汗をかいているなど五感を最大限使いながら待合室で待っている患者の顔や態度、状態やバックグラウンドを観察して対応することが大事である。バイタルサインとは「生きている徴候」で脈拍は心臓の状態の指標と考えられ、脈拍≦心拍数との認識が正しい。呼吸は成人で15～20回／分で、過換気になった場合は紙袋を使うという対処法から現在では酸欠のこともあるため呼吸を落ち着いてするような指導法のみに変更となっているとのことであった。平均血圧は脳血流の自動調節機能を表し、血圧計のマンシェットも装着の方法でかなりの誤差が出てしまうため正しい装着の研修を医療

質問を交えた討論が行われた

従事者間で共有しておかなければならない。パルスオキシメーターは酸素飽和度を測るものであるが、実は脈拍を測る良い装置でもある。飽和度が90を下回るとヘモグロビン酸素解離曲線のジグモイドが下降する方へ移行するため、その数値は重要で、脈拍の波形をモニタリングできるため心房細動なども発見さることもあり医療事故を予防できる。備えておくべき救急薬剤に関しては、筋注薬剤であるべきで静注は現実的に使用できないと考えられる。BLSを確実に行うことも当然必要。

顔面N麻痺・上肢運動拙劣（上肢回内落下）・呂律が回らない、の三つがそろった場合７割が脳梗塞の可能性があり、早期に抗凝固剤の使用を依頼する。

偶発症で一番多いのが血管迷走神経反射で70％と多い。さらにラテックス手袋でもアナフィラキシーショックを起こす可能性があり、その際エピペンを使用。

BLS（Basic-Life-Support）・救命の連鎖（チェーン・オブ・サバイバル）迅速な手順で救急車を呼ぶ者や蘇生を担当する者、AEDを準備する者などの役割分担・指示を行うことが大事である。心臓マッサージ（胸骨圧迫）G 2010の新しい蘇生法のテンポは水戸黄門やドラえもんのテンポと同じで100回／分で覚えていると良い、その際の人工呼吸（AとB）は大事であるが、何より血液の循環（C）が大事であることを説明された。

講演終了後、アンケートによる10の設問a．マンシェットを緩く巻くと血圧は？（回答：緩く巻くと血圧は高めに測定されてしまう） b．SPO2は冷たい指の方が正確に測れる？（回答：冷たい指では正確に測れない）などに対する日本歯科麻酔学会の冨永晋二地域医療委員会委員による回答・解説がなされた。

総合討論会

会場からの質問も交え、本日講演いただいた望月講師と冨永委員、県歯学術委員会の内野委員・壽永委員をステージに迎え会場からの質問に討論や見解を含め説明が始まった。

Ｑ１．Ｂ型肝炎キャリアで抗原が検出限界の患者はどのように扱うべきか？

―Ａ１．スタンダードプリコーションを遵守することが妥当であると思われる。

Ｑ２．精神疾患を持った患者の対応

―Ａ２．精神疾患福祉士という方が精神疾患に対してはコメディカルスタッフとしておられるのでその方々を含め　対応していく。大事なのは歯科医1人で抱え込まない。精神疾患の患者は背景として投薬量が多いため麻酔が効きにくいこともあると考えられる。

最後に、井上理事が謝辞を述べ盛会にて終了した。

（学術　園木 誠）

各郡市新執行部紹介

熊本市歯科医師会（会長 宮本 格尚）

①年間行事、事業

年間を通せば、２ヵ月に１回ほどの頻度で、学術研修会、医歯連携セミナー、社保研修会などが開催される。また、個別指導などに対して社保委員会が対応している。さらに年10校の歯磨き巡回指導が行われる。６月には「歯の祭典」が行われ、参加者は1,200人を越える。新年には多数の来賓を招いて新年会を行い、夏には「ビアパーティー」が行われ、共に参加者は200人程の規模になる。

広報の発行物は、月１回の「かわら版」、３ヵ月に１回の「中岳」を発行する。

②現在計画中の事業

・歯と口の健康条例制定に向けた各方面への働きかけ
・フッ化物洗口事業の拡充への協力
・障がい者施設の健診事業への協力
・13大市歯科医師会連絡協議会での情報収集

③会の特徴

７月末現在、会員数404人。12の支部を有し、各支部では独自の活動を行っています。

執行部には６つの委員会（地域学校歯科保健、医療管理、厚生、社保、学術、広報）があり、臨時委員会としてIT化検討委員会と百周年記念誌編纂準備委員会が活動しています。

この他にも、医療相談委員会や医道委員会、裁定委員会、選挙管理委員会も有します。

執行部は、行政との折衝の出務が多く、また会員は休日昼間及び夜間の診療を輪番制で行い社団法人としての責務を会全体で果たしています。

（温 永智）

球磨郡歯科医師会（会長 向江富士夫）

①年間行事・事業

・人吉球磨臨床歯科研修会
・人吉球磨歯科医師会学術講演会
・人吉球磨地域歯科保険推進連絡会
・人吉球磨合同理事会
・医師会薬剤師会との合同研修
・福利厚生事業・会員研修旅行
・歯と口の健康週間（各医院での無料歯科健診）
・長期休日期間当番医

②現在計画中の事業

・地元歯科衛生士学生への学費支援
・高齢者通院支援を行政と協力
・歯科医の倫理、技能向上
・歯科技工士会、歯科衛生士会との連携
・糖尿病フォーラム
・早産（低体重児出産）の予防
・がん治療の周術期口腔機能管理

③会の特徴

会員数14人と少数のため会員間の連携が密であり、和気藹々とした雰囲気である。しかしながら、少ない会員数なので会運営のための人材不足の感は否めず、向江会長は前回の会長職に続き異例の再度登板となった。

その他役員も１人で２～３役の会務を担当せざるを得ない状況である。

④その他

球磨郡歯科医師会は県南部東方地域の歯科医療を担当し、14人で担当する面積としては広範囲であり山間部を含み過疎高齢化に直面している地域である。

球磨郡歯科医師会自体も高齢化に直面しており、14人の会員中10人が還暦を迎え将来的には歯科医師会としての活動にも支障が発生する恐れさえある。

このままの状態が続くと、球磨郡歯科医師会のみならず将来的には球磨地域の地域歯科医療の崩壊に繋がりかねないとの危惧もある。

これらの問題をふまえ、会員の地位向上と地域住民への医療貢献を今後とも推進するため、会員一同努力したい。

（塚本　卓也）

宇土郡市歯科医師会（会長　田中　栄一）

①年間行事、事業

・宇城三郡市学術講演会
・歯と口の健康週間事業
・健康診断
・会員旅行
・宇土郡市学術講演会
・医師会との懇親会

②現在計画中の事業

地域医療連携における他業種との交流

③会の特徴

会員が少なく、いずれかの役職をもち、全員ですぐに動ける会であり、皆が仲良く、和気あいあいとした郡市会です。

④その他

すべての会員が患者の口腔内の健康増進に努め、患者さんのことを第一に考え診療できるという事を目標にしています。

（田中　栄一）

水俣･芦北郡市歯科医師会（会長　蓑田　亮）

①年間行事・事業

総務：
・例会（年５～６回開催）
・未入会員対策

学術：
・例会時のビデオ研修
・学術講演会（年２回、１回はスタッフ合同）
・医師会との合同研修会（年１回）
・日常歯科臨床懇話会（「伊佐、出水、薩摩、水俣芦北」４地区合同学術講演会）
・病診連携研修会（水俣総合医療センター懇話会）

厚生：
・会員､関係者健康診断（８月）
・新年会の開催（１月、家族参加）
・会員の研修旅行・各診療所福利厚生事業
・医療安全管理義務（院内感染・医療機器、医薬品の安全管理）

公衆衛生：
・各市町村のイベントへの参加
・歯と口の健康週間（各医院での歯科健診）
・高齢者のよい歯のコンクール
・小中学校フッ化物洗口

社会保険：
・例会時の社保研修会及び質疑応答

②現在計画中の事業

・医師会との合同研修会、懇親会での病診連携の強化。

・水俣総合医療センターを軸に、水俣芦北に隣接する鹿児島県の歯科医師会との合同学術講演会、懇親会で親睦を深め情報交換。
・在宅介護医療への対応と対応力の強化

③会の特徴

様々なニーズに答えることのできる郡市歯科医師会。

④その他

水俣芦北地区での小中学校フッ化物洗口での対応について、フッ化物洗口の実施に関して保護者等への呼びかけや保育園、幼稚園への働きかけを進める。

（伊藤　延隆）

下益城郡歯科医師会（会長　吉永　修）

①年間行事、事業
・定時総会
・宇城三郡市学術講演会
・宇城健康フェスタ
・お口の健康展
・会員健康診断

②現在計画中の事業
・訪問歯科への取り組みに対する更なる協力

③会の特徴

全世代を通して親睦がはかられており、会員同士の仲がとてもよい会である。

今回執行部は前期とほぼ同じ顔ぶれで、下益城歯科医師会を益々盛り上げていたい。

（田染　直子）

人吉市歯科医師会（会長　中原　正弘）

①年間行事・事業
⑴毎月の理事会と例会、新年会（お祝い事）、臨時総会、総会（議員、市役所関係招待）
⑵乳幼児健診、小中学校・高校（分校）健診、歯周疾患健診、後期高齢者健診、妊婦健診
⑶介護認定審査会（４人出務）
⑷「歯と口の健康週間」無料健診イベント（スーパー店舗内にて）
⑸人吉・球磨合同学術講演会（年１回、主催は交代）
⑹人吉・球磨臨床歯科研修会（年３回、人吉医療センターにて）
⑺糖尿病予防フォーラム（歯科相談など）
⑻「人歯会報」の発行（今年度は創立70周年記念号）
⑼研修旅行（隔年）
⑽城南五郡市連絡協議会（天草・八代・水俣芦北・球磨・人吉）
⑾お口の健康教室（介護予防）
⑿保健所・人吉市役所関係及び多職種連携（Fanの会）への出務
⒀人吉市との連絡協議会

②現在計画中の事業

現在のところ特になし。

③会の特徴

人吉市はコンパクトな地域なので、毎月（第４水曜日）例会を行っている。

会員の高齢化は県内でも上位だが、例会には８割以上の会員が出席している。

例会では、社保のタイムリーな情報発信や、当月誕生日の会員にお祝いの品を進呈している。

また、会報（人歯会報）を毎年発行し、記録の保管に努めている。

④その他

高齢化に伴い、会費収入の減少が考えられるので、終身会員の年齢（70歳）の延長も視野に入れる時期に来ている。

（齋藤　健三）

山鹿市歯科医師会（会長 宮坂 圭太）

①年間行事・事業

・歯と口の健康週間事業（健診、フッ素塗布）
・100%達成したフッ化物洗口の継続
・会員・歯科衛生士向け研修会の開催
・従業員永年勤続者表彰
・移動例会及び会員親睦のレクリエーション
・議会、行政、医師会、薬剤師会をはじめとする他職種との連携
・山鹿市民医療センター（急性期病棟、緩和ケア病棟）との医療連携と研修会

②現在計画中の事業

・在宅医療に関して他業種との連絡協議会の開催
・高齢者歯科健診受診率の向上と施設等の高齢者歯科健診の実施
・山鹿市民医療センターとの連携協定
・高齢者への食支援の展開

③会の特徴

全会員の自主性、規律を尊重した会組織に

すること、保健所や市役所の会議にも役員が交代で積極的な参加をしたいと思います。

例会での理事としての報告発表を充実させ、また行政や三師会はじめ多職種との交流促進を図ります。

④その他

長いこと、県歯役員として学んだことを生かして、少しでも住みよい山鹿づくりを「オール山鹿」で挑みます。

（宮坂 圭太）

荒尾市歯科医師会（会長 田中 正）

①年間行事・事業

毎月の通常例会、理事会、各種協議会といった会務以外に 9 月以降の主な行事・事業は次の通りである

・いきいき健康づくり教育講座講演（10月開講）
・救急救命講習会＆荒尾市防災訓練参加（11月）
・荒尾市健康福祉まつり参加（H30. 6 月）
・会員研修旅行（計画中）

②現在計画中の事業

・周術期、糖尿病連携、寝たきり患者さん等の摂食、嚥下障害をからめた在宅医療連携事業（在宅ネットあらお）等の三師会連携事業の更なる推進
・荒歯会規約一部改正

その他、玉名郡市歯科医師会との様々な連携事業も計画中である。

③会の特徴

今回、執行部人事において若返りがなされ、

また「会員全員が会務に携わり、荒歯会を盛り上げていきたい」という新会長の意向から、年長会員を除く会員は各委員会に割り振られ、会の活動に何らかの形で関与することになった。

また普段から若手と中堅、年長組の会員相互の親睦が様々な場面ではかられており会の運営は順風であり、また三師会とも良好な関係が維持されているので連携事業にも積極的に取り組めるので、引き続き実績を作れるよう邁進していきたいと思う。

（坂田 輝之）

熊本市歯科医師会

歯科治療概要及び保険請求上の留意点

― 睡眠時無呼吸症候群（SAS）の留意点についての説明会 ―

７月６日（木）午後８時より、県歯会館３Ｆ市会議室において、睡眠時無呼吸症候群（SAS）における歯科治療概要及び保険請求上の留意点についての説明会が行われた。

熊本市では平成16年より、睡眠時無呼吸症候群（SAS）の歯科的治療を医科と連携して行なう治療体制を整え、下顎前方位固定装置の作製を行う協力医の登録を行っている。（市歯ＨＰにも掲載中）。この協力医の歯科診療所の情報は、熊本市医師会へ連携協力医歯科診療所リストとして提出し、医科で歯科的治療が必要であると判断された場合、各歯科診療所へ連絡されるというシステムになっている。しかし、初回登録時に比べ、治療のガイドラインや保険請求上のルールにも変更が出てきたため、今回、治療概要及び保険請求上の留意点についての説明会が開催された。宮本会長の挨拶後、学術の大塚理事よりSASの治療概要、社保の井口理事より保険請求上の留意点について説明が行われた。

大塚理事より

睡眠時無呼吸症候群とは夜間睡眠中に無呼吸（Apnea：10秒以上の気流の停止）を繰り返し、その結果日中傾眠などの種々の症状を呈する疾患の総称のこと。Sleep Apnea Syndrome（SAS）と言われ、７時間の睡眠中に30回以上の無呼吸もしくはAI（Apnea Index：睡眠１時間あたりの無呼吸の回数）５回以上と定義されている。臨床での重症度判定には、無呼吸に低呼吸（Hypopnea：酸素飽和度の低下や覚醒を伴う気流の低下）を加味した無呼吸低呼吸指数（AHI：睡眠１時間あたりの無呼吸と低呼吸を合わせた回数）が用いられる。日本では、SASの患者の顕在化が遅れており、潜在患者は人口の約２％といわれており、治療法はCPAP療法（鼻マスク式人工呼吸器療法）が第一」となっている。また、主な症状として、いびき、日中の眠気、熟睡感がない、起床時の頭痛、眠っている間に呼吸が止まるなどが挙げられ、医科医療機関での終夜睡眠ポリグラフィによって診断される。SAS罹患者では交通事故は健常者の約７倍、生活習慣病患者ではSASの合併率が高くなり、睡眠不足が様々な生活習慣病の元となる。AI20以上で無治療の場合、将来９年間で30%が死亡するなど、重症なほど予後は悪い。

〈治療法〉

中等～重度ではCPAP療法：鼻マスク式人工呼吸器療法が第一選択になり、軽度～中等度では生活習慣の改善、口腔内装置の装着が第一選択である。アデノイドや扁桃肥大に対しては、耳鼻科的外科処置を行う。歯科では、口腔内装置、顎顔面的外科、矯正治療が主体となる。※医科からの依頼がないと治療はできない。また、内科的治療法の第一選択であるCPAP療法はAHI20以上が適応であり、歯科で依頼される口腔内装置（スリープスプリント：SS）の適応は、AHI ５以上20未満、もしくは20以上で、CPAP療法が難しい患者となっている。

〈スリープスプリント：SS作製〉

歯科での主な対応であるスリープスプリント：SS作製にあたって、作製前のＸ線診査、口腔内診査、呼吸テストが大切である。

Ｘ線診査　パノラマＸ線で残存歯、カリエス、歯周疾患、欠損、顎骨、顎関節など精査する（可能であればセファロ上で上気道の硬、軟組織の形態、気道の大きさなどを精査）

口腔内診査　カリエス処置は済ませておく。歯周病については、SSが装着可能か判断しておく。

呼吸テスト　患者を仰向けに寝かせた状態で、下顎を数ミリ前突させ、呼吸がしやすくなるか確認すると同時に、最大前方移動距離を測定しておく。

〈作製手順（上下分離して作製し、口腔内で固定する方法）〉

印象（上下模型作製）➡レジンプレートを作製

アクリル樹脂（2.0㎜程度）を使用し、真空成型値器（エルコプレス等）を用いて、石膏模型に加熱圧接➡レジンプレートを上下それぞれ口腔内に試適（必要があれば削合調整）➡下顎を中心咬合位より最大前方距離の⅓～½程度前方（４～６㎜）に移動させた状態で上下プレート間を即時重合レジンで固定（左右にズレないように注意）

※移動量の設定：下顎移動量は個人差が大きく、設定に際しては必ず下顎の最大前方移動量を測定して移動の目安とし、筋への過重負担やTMJに違和感の無いことを確認して決定する。一律に数値で決定すべきではなく、決定までに複数回要する場合もある。➡前方移動距離は通常４～６㎜程度から始めて、１週間ほど経過観察し、効果がなければ徐々に前方移動距離を多くする。

〈治療の評価〉

SSが確実に装着できるようになった時点で早期に睡眠検査を行い、治療の評価を行う。

効果が得られないときは、再度下顎の位置を調整する。

治療後も内科との連携を密にとり、歯科、内科ともに定期検診を受信させる。

我々歯科側は医科より依頼なければ治療はできないが、重度のSAS患者では生命の危機に関わるということを認識し、日常臨床の中で、こちらから潜在的なSAS患者を見つけることも大切なことだと最後に話された。

井口理事より

〈健康保険適応の条件〉

⑴医科（専門医）にて睡眠検査をおこなうこと（終夜睡眠ポリグラフ検査など）

⑵検査の結果、睡眠時無呼吸症候群と診断されること

⑶医師が口腔内装置適応と判断し、治療依頼（紹介状）すること

〈カルテ記載〉

①紹介元保険医療機関名と情報提供内容等を記載するとともに情報提供文書の添付

②医科歯科併設病院の場合は、院内紹介元からの情報提供内容、担当科名

③調整又は修理を行なった部位、方法など

〈レセプト記載〉

紹介元医療機関名（院内紹介の場合は、担当科名）

※歯科特定疾患療養管理料　［150］（特疾管）

・治療計画に基づき、療養上必要な指導を行った場合に、月２回を限度として算定する。

・症状及び管理内容の要点をカルテに記載する。

・［歯管］、［周Ⅰ］、［周Ⅱ］、［周Ⅲ］、［歯在管］、［訪問口腔リハ］を算定する。

※共同療養指導計画加算　［100］

・歯科特定疾患療養管理に先立ち、医科の主治医と共同して総合的な口腔の療養指導計画を策定し、その内容を文書で提供した場合、１回に限り加算する。

・カルテに提供文書の写しを添付し、医科の主治医の氏名と保険医療機関名を記載する。

・保険医療機関名はレセプトにも摘要欄記載する。

〈算定点数〉

SSの請求では、床副子の著しく困難なもの（睡眠時無呼吸症候群の咬合床：上顎および下顎に装着する１装置タイプ）

2000点＋装着料300点　印象228点　バイト280点

調整120点（装着時または装着日から１ヶ月以内１回限り）

修理234（月１回のみ）

また、社保からもSS装着後は睡眠検査を行い、治療の評価をするようにと説明された。

学術、社保からの説明と同時に、SAS歯科治療における協力医新規登録及び登録更新がおこなわれた。

（清水　幹広）

荒尾市歯科医師会

ギラつく真夏の海に銀鱗は踊る！

― 第22回　親睦釣り大会 ―

７月16日（日）下りの中潮、毎年夏の風物詩の「親睦　釣り大会」が開催された。

今年も狙うターゲットは小さな大物のシロギス！

例年通り玉名漁港から、午前８時に２隻の漁船に分乗した15人の太公望達は、無風ベタ凪の有明海に出港した。

今回は、初参加の子供を含め、日頃の見なれたパパとはチョット違う、頼もしい“海の男”と化した父親とともに、プルップルッとしたキス特有の小気味よい引き味を楽しんだ。

本命のシロギス以外にも、アジ・マゴチ・ホウボウ・メゴチなどの多彩な顔触れのゲストの魚たちも釣れ、船上を賑わせた。

中でも荒歯会の疋田会員が良型のマダコをゲットした際には、船中の子供達が一斉に歓声を上げて集まり、可哀想なタコは力いっぱい引っ張られ、叩きつけられ、散々な目に遭わされていた。

その後、日も高くなり、一段と暑さが厳しくなった午後１時に納竿し、帰港沖上がりとなった。

下船後に、港で釣果を検量し、表彰式をおこなった。

結果キスの部は、熊本市から参加した梶原会員親子が23.5cmで１位、２位のダブル優勝を果たし、他魚の部は45.5cmのマゴチを釣り上げた

国保連合会の田尻氏が初参加で初優勝の栄冠に輝いた。

それぞれ優勝者には古屋敷理事よりトロフィーが授与され、入賞者には賞品が贈呈された。

参加者達は来年への連覇と雪辱をそれぞれ誓い合い、海上での目眩く熱いバトルを締めくくった。

（原口　泰）

リレー投稿

80cm（ハチマル）の大鯛にはまる

熊本市　奥田 洋実

４、５年前のある日、以前から診療させて頂いてるご年配の患者さんから「実は、今度私の息子が脱サラして釣り船をすると言い出したので、先生がもし釣りをする事があれば是非一度使って欲しい。」とのご相談？ご依頼？ご指示？がありました。

頼まれると、断れない性格（断る勇気がない）と言えば、聞こえは良いのですが、単純に気が弱いだけなのかもしれません。「兎に角、一度釣りに行きます」という事で私の趣味が新たに一つ増える事になりました。

始めの頃は釣れてもガラカブや小アジ、せいぜい小鯛（どう頑張っても25～30cm）が釣れる程度。どうすれば40～50cmの中鯛が釣れるのか？増してや60cm（ロクマル）、70cm（ナナマル）、80cm（ハチマル）など夢の又夢という事で、ひたすら地道な「テンヤ釣り」の修行？を続けておりました。

2013.５.５．夢はいきなり現実になりました。何回目の船釣りかは忘れましたが、いつものようにエビ餌をテンヤの仕掛けに真っ直ぐに付けて35～40mあたりの底を取り、１～２mの誘いをかけていたら根掛かりのような鈍い当たり、それなりの合わせを入れてみたら岩とは違うヘビー級の反応。ドラグの心地良い響きと強烈な引きで上がって来たのは80cmの真鯛（5.6kg）。その日は他にも何か釣れたような気がしますが、忘れてしまいました。

所謂、「まぐれ当たり」と言う事ですが、何と言われてもかまいません。「釣ったもん勝ち」です。この感覚「たまりまへんな～」もう止められません。

念願の80を釣り、魚拓も作ったのですが、しばらくすると自分でもこれは本当に「まぐれ」ではないかと思い始めました。まぐれではない事を証明するには２匹目の大鯛を釣るしかありません。それも80以上の大鯛でないといけないわけです。とは言え、そう簡単には行きません。妄想と試行錯誤の日々が続きます。

2014.11.23．そして妄想が現実になりました。２匹目は、今、流行っているタイラバ

（ルアー）での釣果になりました。鬼池港の沖で、83cmの真鯛（6.5kg）やっと記録を更新する事が出来ました。何とかこれで、まぐれ当たりでは無い事が証明出来た？かもしれません。しかし、最近の世間は何かと否定的な意見が多いようなので、もう一本80（ハチマル）を上げれば「釣りバカ」が確定するでしょう。という事で、３匹目の大鯛を求めて挑戦しました。

2015．6．29．そしてついに３匹目の大鯛が上がりました。テンヤ釣りで81cmの真鯛（5.8kg）です。今回は湯島の沖での釣果でした。自分的には自力の３連覇の気分でしたが、今から思うと色々な自然の条件がそろい、なおかつ、船頭さんや気の良い釣り友達のアドバイスや気遣い？の賜物と心から感謝しております。

本格的に海釣りを初めてから今年で６年目ですが、まだまだ未熟者なのは分かっております。ここまでは、幸運にも大鯛を釣る事が出来てちょっと調子に乗っておりましたが、安心して下さい。昨年2016年以降（特に熊本地震以降）は調子が悪く、それから大鯛は上がっておりません。調子に乗りすぎたと反省してるところです。

釣れる釣れないは時の運、実際にこれまでに釣れない日（ぼうず）は何回もありました。ほとんど釣れない日（ガラカブ１～２匹程度）を含めると７～８回はあったと思います。それでも現在まで飽きずに続いているのは、釣りの楽しみだけではなく、海上での潮風の心地よさや船でポイントを目指すまでの「わくわく感」逆に大物を取り逃がした後の残念感や悔しさも日常生活ではあまり味わえない刺激的な魅力になっているためだと思います。この数年80（ハチマル）大鯛にはまっていたため？それまで趣味としていたゴルフの方は完全に下手になってしまいました。（もはや100も切れません）海で80台は出ましたが、陸では80台が出なくなりました。チョッチ残念な気もしますが、仕方ありません。もう暫く海で大物を求めて楽しみたいと思います。

興味のある先生は一緒に釣りに行きましょう。連絡お待ちしております。

次の「リレー投稿」は、最近日本歯科大学の後輩になった？熊本市南区銭塘町で開業している小柳一哉会員にお願い致します。

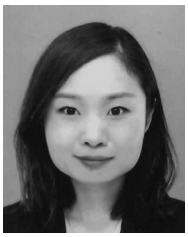
リレー投稿にご協力を

指名があったら是非とも投稿をお願いします。
次回は先生に依頼があるかも？

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員



今泉　真理子
（イマイズミ　マリコ）

菊池市大琳寺274-3

原賀歯科医院

①インプラントや小児歯科など勉強中の分野。
②地域の方々の口腔内の健康と共に心も癒していけるような診療。
③ご家族で通院して頂けるようなアットホーム感。
④父の築いてきた地域密着型の医療に対する遺志を継承し、更により良い医療を提供できるよう日々研鑽を積んでいきたい。

光永　昭宏
（ミツナガ　アキヒロ）

天草市牛深町鬼塚2039-12

いるか歯科医院

①MFT、世界情勢、全仏オープン。
②できるだけ患者さんの希望に沿うものでありたい。
③埋立地に建っているので横は内海と平地、見晴らしのいい眺めにゆったりとしてほしい。
④健康に留意しスタッフとともに地域の歯科医療に貢献できればと思っています。どうぞご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いします。

第２種会員

中山　越賀
（ナカヤマ　エツヨシ）

菊池市泗水町豊水3514

中山歯科医院

①インプラント治療、歯周治療。
②地域に信頼される歯科医院である事。
③特にないが、インフォームドコンセントを心掛ける。
④患者様が納得され、安心して治療を受けれるように地域に根ざした歯科医院を目指す。

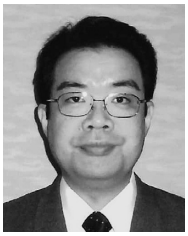
今泉　亮
（イマイズミ　リョウ）

菊池市大琳寺274-3

原賀歯科医院

①少子高齢化への対応。
②メンテナンスを通した予防管理型の歯科診療。
③患者１人１人を大切にした、地域に密着した医療。
④患者さんの声に耳を傾け、患者さんに寄り添った歯科医療を提供していきたい。

第３種会員



廣瀬　知二
（ヒロセ　トモジ）

熊本市中央区子飼本町4-14

伊東歯科口腔病院

吉武　義泰
（ヨシタケ　ヨシヒロ）

熊本市中央区子飼本町4-14

伊東歯科口腔病院

会　務　報　告

自　平成29年６月30日
至　平成29年７月23日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	６月30日	職員夏期手当支給式	浦田会長
		県地域医療構想調整会議（テルウェル熊本）	浦田会長
	７月１日	角町正勝先生旭日双光章受章記念祝賀会（ニュー長崎ホテル）	浦田会長
		熊本市歯会親睦大会（KKRホテル熊本）	小島・渡辺副会長、牛島専務理事
	３日	元日歯専務理事との懇談（熊本市）	浦田会長、渡辺副会長、牛島専務理事
		県救急医療連絡協議会（テルウェル熊本ビル）	牛島専務理事
	４日	第２回理事会 【承認事項】（１）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼（２）名義後援使用依頼 【議　　題】（１）退職役員、代議員会議長・副議長、代議員、委員会委員の表彰者 （２）第１回臨時代議員会日程資料	浦田会長他全役員
	５日	九州厚生局指導医療官新任挨拶応対	浦田会長、椿常務理事
	６日	サンスターとの懇談会（熊本市）	浦田会長、小島・渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事
	８日	県体協・国体選手歯科健康診査チェック会議	渡辺副会長、八木常務理事、竹下・宮井理事
		荒尾市歯会通常総会（ホテルヴェルデ）	浦田会長、牛島専務理事
	９日	県歯会剣道部祝賀会（熊本市）	渡辺副会長
	10日	平成30年度地域医療総合確保基金打合せ（県庁）	伊藤副会長、澤田事務局長
	11日	藤川たかお後援会のつどい（マリエール神水苑）	小島副会長
	12日	第789回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	13日	第１回県保健医療推進協議会（県庁）	浦田会長
		会計勉強会 （１）監事の権限と責任（２）会計伝票のチェック方法（３）出張　ほか	中嶋・西野監事、吉永会計士
	14日	九州各県事務局長連絡会（大分県歯会館）	澤田事務局長
	15日	第１回臨時代議員会 ［議　事］第１号・第２号議案 ［協　議］（１）時局対策	宮本議長、武藤副議長他49議員、浦田会長他八木常務理事を除く全役員
	19日	第２回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）平成29年度くま歯キャラバン隊の運営 （３）自民党熊本県連への要望書提出　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	21日	県体育協会第１回財務特別委員会（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）	澤田事務局長
		地域医療介護総合確保基金新規事業検討会	浦田会長、伊藤副会長、牛島専務理事、田上・椿常務理事
	22日	鹿児島大学歯学部同窓会県支部総会懇親会（熊本市）	伊藤副会長、牛島専務理事
学　術	７月11日	学術委員会 （１）委嘱状伝達（２）７／30バイタルサインセミナー（３）H29年度事業計画確認	伊藤副会長、牛島専務理事、椿常務理事、井上理事、馬場委員長他全委員
社会保険	６月30日	社会保険個別相談会（八代市） 相談者：１名	井口副委員長、渡辺委員
	７月５日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：３名	田中理事
		社会保険委員会 （１）委嘱状伝達（２）会員向け発行物等役割分担 （３）共同指導、個別指導立会者・個別相談会日程　ほか	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、椿常務理事、田中理事、桐野委員長他13委員
	15日	社会保険個別相談会（阿蘇市） 相談者：１名	園田委員
	19日	社会保険個別相談会（八代市） 相談者：１名	井口・野田副委員長、渡辺委員
	20日	保険共同指導（１日目）（KKRホテル熊本）	浦田会長、椿常務理事、桐野委員長、井口副委員長
	21日	保険共同指導（２日目）（KKRホテル熊本）	牛島常務理事、椿常務理事、田中理事、橋本・野田副委員長
	23日	社会保険講演会 受講者：96名 演　題：「リグロスe-learning」講師：科研製薬隠株式会社	椿常務理事

所管	日付	摘要	出務者
地域保健	7月3日	地域保健委員会 （1）委嘱状伝達（2）地域保健委員会における活動予定と役割分担 （3）生活歯援プログラム歯科衛生士向け研修会の開催　ほか	小島副会長、赤尾理事、郷原委員長他全委員
	5日	第1回県へき地保健医療対策に関する協議会（水前寺共済会館グレーシア） （1）第7次熊本県保健医療計画の策定案	赤尾理事
	11日	熊本さわやか大学校八代校講演（やつしろハーモニーホール）	溝口会員（八代）
	12日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（特別養護老人ホーム泗水苑） 受診者：29名	歯科衛生士2名
	18日	生活歯援プログラム歯科衛生士向け研修会事前打合せ （1）研修会の次第（2）説明1「生活歯援、プログラムの概要」の内容 （3）説明2「生活歯援プログラムの実施方法」の内容	渡辺副会長、赤尾理事、髙水間副委員長、二宮・福田委員
	20日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（大豊工業株式会社） 受診者：13名	歯科衛生士2名
	21日	荒尾市三師会総会（ホテルヴェルデ）	赤尾理事
広　報	7月10日	広報委員会 （1）委嘱状伝達（2）会報7月号編集・校正	渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、竹下理事、永廣委員長他全委員
	15日	臨時代議員会取材	永廣委員長、緒方委員
	21日	広報小委員会 （1）会報8月号第2校校正（2）今後の会報作成等日程	竹下理事、永廣委員長他3委員
学校歯科	7月13日	学校歯科医員会 （1）委嘱状伝達（2）全国大会	浦田会長、渡辺副会長、牛島専務理事、大林理事、河原委員長他全委員
	19日	第6回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
		県学校保健功労者表彰並びに学校保健及び学校安全表彰審査会、県学校保健会表彰審査会（県庁）	渡辺副会長
	20日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	7月5日	医療対策小委員会	永松理事、岡田委員長他2委員
	18日	医療対策委員会 （1）委嘱状伝達（2）事例報告検討（3）委員会連絡網　ほか	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、八木常務理事、永松理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	7月3日	第12回県在宅医療連携体制検討協議会（ホテル熊本テルサ）	松本理事
	12日	センター・介護委員会 （1）委嘱状伝達（2）平成29年度委託事業（3）基金事業提案　ほか	小島副会長、田上常務理事、松本理事、平井委員長他5委員
厚生・医療管理	7月5日	厚生・医療管理委員会 （1）委嘱状伝達（2）合同就職説明会（3）九州各県医療管理担当者会　ほか	八木常務理事、宮井理事他全委員
	15日	第58回日本歯科医療管理学会総会・懇親会（北九州国際会議場）	牛島専務理事
	16日	第58回日本歯科医療管理学会学術大会（北九州国際会議場）	牛島専務理事、宮井理事
総務・医療連携	7月4日	県医療・保健・福祉団体協議会第1回理事会（テルウェル熊本ビル）	澤田事務局長
	9日	周術期口腔機能管理での歯科衛生士の役割と意義についての説明	宇治理事
	12日	総務・医療連携委員会 （1）委嘱状伝達（2）平成29年度業務内容確認（3）医療連携の現状	浦田会長、牛島専務理事、伊藤副会長、宇治理事、三森委員長他全委員
	21日	口腔ケア講習会（熊本労災病院） 受講者：109名	宇治理事
学　院	7月19日	第2回学院運営審議会 （1）実習ユニット選定	浦田会長、伊藤学院長他常務理事以上全役員
	22日	第1回学院体験入学 参加者：54名	
国保組合	7月5日	国保連合会理事会（KKRホテル熊本）	浦田理事長
	11日	全歯連選挙管理会（アルカディア市ヶ谷）	浦田理事長
		第1回全歯連通常総会（アルカディア市ヶ谷）	浦田理事長
	12日	全協職員研修会（東京・全国町村会館）	塩山係長
	22日	第2回国保臨時組合会 ［議事］第1号～第6号議案	29議員、浦田理事長他全役員

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

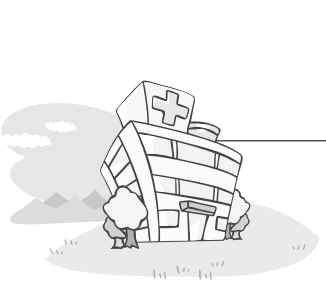
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

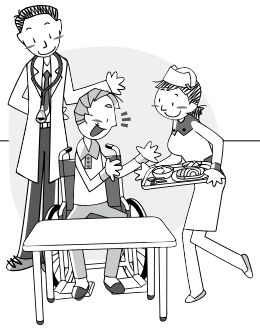
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

「MJRザ・ガーデン大江」モデル

LOCATION | JT跡地の再開発で、暮らしの利便性が高まった大江。

ゆめタウン大江/徒歩6分(約440m)

大江小学校/徒歩9分(約690m)

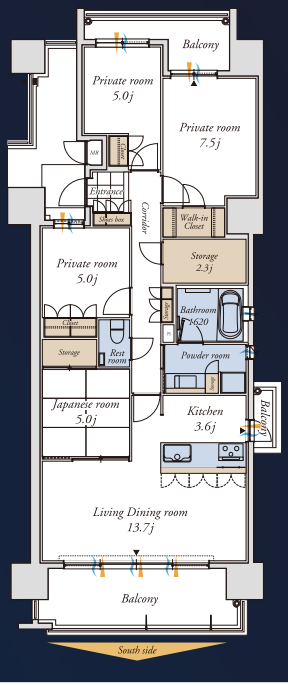
白川中学校/徒歩7分(約540m)

スターバックスコーヒー熊本大江店
徒歩5分(約360m)

熊本市立図書館
徒歩16分(約1,220m)

※徒歩分数は約80m=1分で計算(端数は切り上げ)しています。

ROOM PLAN | 南向き中心で



※現地南側の県営山の上団地は白線で表現しています。
※完成予想図は図面を基に作成したもので、形状・色等は実際とは異なります。外観形状の細部・設備機器等は表現しておりません。また表現されている植栽は竣工から初期の生育期間を経た状態を想定して描いております。竣工時は植物の生育を見込んで必要な間隔をとって植えております。

【物件概要】●名称／MJRザ・ガーデン大江●所在地／熊本市中央区大江二丁目1900番1(地番)●交通／熊本市電「九品寺交差点」電停より徒歩16分、「大江住宅前」バス停より徒歩1分●用途地域／近隣商業地域・第2種中高層住居専用地域●構造・規模／鉄筋コンクリート造、地上14階建●敷地面積／5,928.99㎡●建築面積／2,005.16㎡●建築延床面積／18,947.23㎡●総戸数／193戸●建築確認番号／第ERI16001839号(平成28年2月25日取得)●駐車場／総戸数193戸に対して193区画203台〔内10区画は縦列駐車〕別途来客用2区画(月額使用料(税込)／1,000円～19,500円)●大型バイク置場／総戸数193戸に対して4台(月額使用料(税込)／1,000円)●バイク置場／総戸数193戸に対して15台(月額使用料(税込)／700円)●自転車置場／総戸数193戸に対して254台(平置き1 37台、ラック式117台)●分譲後の権利形態／敷地は共有、建物は区分所有●管理形態／区分所有者全員により管理組合を結成し管理会社に委託●管理会社／JR九州ビルマネジメント株式会社●建物竣工時期／平成30年2月中旬予定●引渡・入居時期／平成30年4月上旬予定●事業主・売主／九州旅客鉄道株式会社福岡県知事(1)第17216号(公社)福岡県宅地建物取引業協会会員(一社)九州不動産公正取引協議会加盟〒812-8566福岡市博多区博多駅前3丁目25-21博多駅前ビジネスセンター●販売提携(代理)／株式会社福岡プロパティエージェント福岡県知事(2)第16298号(公社)全日本不動産協会会員(一社)九州不動産公正取引協議会加盟〒812-0011福岡市博多区博多駅前3丁目25-21博多駅前ビジネスセンター4F●設計・監理／ケイツーデザイン株式会社●施工会社／株式会社錢高組九州支店 【販売概要】●販売戸数／34戸●販売価格(税込)／3,150万円～6,180万円●最多販売価格帯(税込)／3,500万円台(6戸)●間取り／3LDK(12戸)・4LDK(22戸)●専有面積／72.57㎡(1戸)～127.97㎡(1戸)●バルコニー面積／11.04㎡(1戸)～43.74㎡(1戸)●ポーチ面積／1.19㎡(2戸)～2.73㎡(2戸)●管理費(月額)／4,300円～7,600円●修繕積立金(月額)／5,100円～9,000円●修繕積立基金(引渡時一括)／255,000円～450,000円●広告有効期限／平成29年9月末日●広告制作日／平成29年8月3日

大江の美しい象徴となるレジデンスを。

都心の利便性と並木の潤い。そして、文教を纏う「大江」を継承するアドレスに、
熊本最大級、全193邸のレジデンス、誕生。

ルーム好評公開中

MJR
THE GARDEN
大　江

熊本県歯科医師会
会員のみなさまへ

JR九州の新築分譲マンション
「MJRザ・ガーデン大江」のご案内

全18タイプの多彩なプランをご用意。

I TYPE | 4LDK

□専有面積 94.36㎡
（約28.54坪）

□ポーチ面積／2.52㎡（約0.76坪）
□バルコニー面積／19.49㎡（約5.89坪）
□販売価格 3,790万円(税込)～

―― 敷地内駐車場 ――
月額 1,000円～

N　通風　採光

PREMIUM LIFE STAGE

OWNER'S LOUNGE

COMMUNITY ROOM

FITNESS ROOM

PARTY ROOM

自分らしいスタイルで楽しむ、
交流を育むステージが此処に。

［事業主・売主］
JR九州 九州旅客鉄道株式会社

［販売提携（代理）］
株式会社 福岡プロパティエージェント

お問い合わせ・資料請求は フリーダイヤル またはホームページへ
0120-820-540
営業時間 10:00～18:00 〈水曜定休〉
MJR 検索

2015 2016
2年連続 マンション販売戸数 九州地区 第1位
※「2016、2017年版九州・山口7県マンション市場動向とその方向」住宅流通新報社調べ

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
September 2017 No.735

笑顔ヘルC

10 主な行事予定 October

4日（水）	第８回常務理事会
14日（土）	第70回九州歯科医学大会（大分県立総合文化センター）
18日（水）	第９回常務理事会
21日（土）	第39回むし歯予防全国大会inくまもと（くまもと森都心プラザホール）
25日（水）	第６回理事会
28日（土）	第１回各郡市会長・専務理事連絡会議
29日（日）	㈱モリタ共催　学術講演会

©2010 熊本県くまモン #K6356

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

私のクリニックはテナント開業で、主に内装被害であったため、グループ補助金の申請が早々に認められました。改修工事も８月末には終了したのですが、問題もありました。天井据付けのエアコンの内部破損、既存トイレの亀裂など、院内を隈無く調べてみると、被災直後の申請時期には分からない被害も出てきました。内装が新しくなり、気持ちは晴れ晴れとしましたが、追加の出費で沈んだ気持ちにもなりました。おまけに、これまでの生活習慣のせいで肝臓を壊し、この夏はノンアルコールビールのお世話になっています。自分の身体の「復興」も、これからの課題です。（苦笑）

（A. K）

■発行日／2017年9月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷